

水害時の衛生対策と消毒方法

1 家屋等が浸水した場合

豪雨時等に路面が冠水すると下水道が逆流する可能性があります。下水道には汚水が混入している場合があります。そのような汚水によって、家屋等が浸水した場合は、洗浄により十分に汚れを除去して消毒するようにしてください。(消毒は、洗浄後でないと、効果を発揮することができません。)

路面が冠水しない状況で、雨水が浸水した場合は、水道水でよく洗浄を行えば衛生対策として十分ですが、地域の状況によっては汚水が混入する可能性もあり、消毒作業が必要となる場合があります。

2 衛生対策について

家屋等が浸水した場合、次のとおり洗浄及び衛生対策を行ってください。

◆ 床下浸水の場合

- ① 家の周囲や床下などにある不要なものや汚泥などを片付けてください。
- ② 床下は雑巾等で吸水し、扇風機等により強制的に換気するなど乾燥に努めてください。

◆ 床上浸水の場合(床下浸水の対策に加えて)

- ① 水が引いた後、濡れた畳や家の中の不要な物を片付けてください。
- ② 汚れた家具や床・壁などは、水で洗い流すか、雑巾で水拭きするなどしてください。
- ③ 食器類や調理器具などは、水洗いして汚れをきれいに洗い流してください。
- ④ 食器棚や冷蔵庫などは、汚れをきれいに拭き取ってください。

◆ 食中毒、感染症の予防

- ① 水道水に異常を感じた場合は水道局お客様サービスセンターに連絡してください。
- ② 受水槽は、安全と衛生を点検・確認してから使用してください。
- ③ 水に浸かった食品や、停電により保存温度が保てなかった要冷蔵・冷凍食品はできるだけ廃棄してください。
- ④ からだに異常を感じたら早めに医療機関で受診してください。
- ⑤ 食事の前や用便の後などは、しっかりと手を洗ってください。

3 消毒方法について

消毒を行う場合、消毒薬はお近くの衛生対策協力薬局で購入していただきます。裏面の「横浜市防疫対策代表連絡薬局(社団法人 横浜市薬剤師会)」へお問い合わせください。

消毒薬は、過剰に使用すると人の健康や環境へ影響を与えることがあります。使用は必要最小限としましょう。また、使用の際には、取扱説明書に従い、事故が起こらないよう注意してください。

<参考>消毒方法例 (※色々な濃度のものが市販されているので希釈比率には注意してください。)

	消毒薬	調製方法(例)	使用方法	注意事項
屋内 (汚水に浸かった壁面や床、家財道具)	0.1%塩化ベンゼンコールニウム (酸性石鹼)	10%塩化ベンゼンコールニウム10ml(キャップ2杯分)に水を加えて1Lとする。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、薄めた液を塗した布などでよく拭く(噴霧器で噴霧した場合は、濡れる程度に噴霧する。その後、風通しをよくしてそのまま乾燥させる)。	・取り扱う際には、長袖、長ズボン、めがね、マスク、ゴム手袋などを使用し、皮膚や目にかからないように注意すること。
手指 (後片付けなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)	0.05%塩化ベンゼンコールニウム (酸性石鹼)	10%塩化ベンゼンコールニウム5ml(キャップ1杯分)に水を加えて1Lとする。	明らかな汚れを石鹼で洗った後、流水で石鹼をよく落とし(石鹼が残っていると殺菌力が低下する)、タオル、ペーパー等で拭き取る。その後、消毒液を手にとり、乾くまでもみ洗いの。	・皮膚についた場合、大量の水と石鹼でよく洗い流す。目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けること。
食器類	0.02%次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤でも可)	6%次亜塩素酸ナトリウム3.3ml(キャップ0.5杯強)に水を加えて1Lとする。	食器等を水洗いした後、消毒液に10分以上浸し、自然乾燥させる。なお、アルミ、銀、鉄などはサビがでるので使用しない(家庭用塩素系漂白剤を用いた場合は、水ですすぐ)。	・使用する直前に希釈し、希釈濃度を守ること。 ・他の消毒液や洗剤と混ぜないこと。

◎ 日ごろから、水害に備え必要な物品を用意しておきましょう。

4 消毒に関するお問い合わせについて

家屋等が浸水した時の衛生対策は、水道水による洗浄で十分な場合と浸水の状況により消毒が必要な場合があります。

消毒の必要性の判断等、消毒に関することについてお困りの際は、お住まいの区の福祉保健センター生活衛生課までご相談ください。

福祉保健センターの職員が、現地調査を行い、状況を確認した上で、消毒の必要性を判断し、消毒作業の支援を行います。

関係機関連絡先 (平成24年6月現在)

区	消毒薬剤の購入に関すること	消毒に関すること	水道に関すること
	横浜市防疫対策代表連絡薬局 (社団法人 横浜市薬剤師会)	区福祉保健センター 生活衛生課	水道局 お香様 サービスセンター
鶴見		510-1845	847-6262
神奈川		411-7143	
西		320-8444	
中		224-8339	
南		743-8263	
港南		847-8445	
保土ヶ谷		334-6363	
旭		954-6168	
磯子		750-2452	
金沢		788-7873	
港北		540-2373	
緑		930-2368	
青葉		978-2465	
都筑		948-2358	
戸塚		866-8476	
栄		894-6968	
泉		800-2452	
瀬谷		367-5752	

《参考》協力薬局ステッカー

消毒薬のご相談はこのステッカーのある薬局へ

水害時の消毒薬剤について、お気軽にご相談ください!

横浜市水害時の衛生対策協力薬局

社団法人 横浜市薬剤師会 横浜市